

一般書

『へこたれない』

鎌田 實／著
PHP 研究所／刊



東京生まれで東京育ちの著者。親類縁者が誰 1 人いない長野県諏訪市の諏訪中央病院で地域医療に携わり、やがて院長に。

2005年同院を退職された後、現在は名誉院長を務めています。

著者が今まで出会ってきた多くの人がこの本には登場します。そして、読者である私たちに「へこたれない」生き方を見せてくれるのです。

仕事や人間関係や家族のことなどいろいろなことで考え込んでしまいそうな時、ぜひ読んで欲しい 1 冊です。

児童書

『おじいちゃんの口笛』

ウルフ・スタルク／作
アンナ・ヘグルンド／絵
菱木 晃子／訳
ほるぷ出版／刊



ベッラは、おじいちゃんが欲しくなり老人ホームに行き、おじいちゃんを「つくり」ます。偶然おじいちゃんにされたニルスさんは、嫌がらずに話したり遊んで過ごします。何度も会ううちにニルスさんとベッラは本当の祖父と孫のようになります。

でも、素敵で楽しい日々は続かなくて…。

心のつながりや、親しい人の死を受け入れ悲しみを乗り越え成長するさまが描かれた物語です。(小学校低～中学年向き)



図書館
library

◎第 2 回こども図書館講座を開催しました

第 2 回こども図書館講座が 8 月 3 日、図書館で開かれました。今回は図書館に本が並ぶまでどのようなことが行われているか説明を聞いたり、本へ透明カバーをかける作業を体験したり、館内から本を探すゲームが行われました。子供たちは真剣な表情で取り組んでいました。



◎「夏休み科学工作・牛乳パックでハガキをつくろう」を開催しました

小学生を対象にした牛乳パックを使った紙すき体験講座が 8 月 8 日、ホールで開かれました。

牛乳パックを砕いたパルプの液をすき枠ですくい上げ、ハガキを作りました。

子供たちは熱心な様子で工作していました。

